

No.18 多発している階段、棧橋 - 墜落・転落の死亡災害事例（2021年）

2021年発生月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	起因物 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者 規 模
12	8 ～ 10	被災者は清掃準備のため、店舗の地下から1階へ上がり、周囲の照明を消して、通路へ向かおうとしたところ、誤って階段から転落したもの。	140201	413	1	1～ 9
12	10 ～ 12	被災者は、ごみをごみ集積場所に置きに行くため、ごみ袋をもち、屋外階段を下りている途中、足を滑らせ、墜落したもの。現認者は確認されていない。	170209	413	1	1～ 9
10	12 ～ 14	被災者は本件事業場の建屋内において、委託業者による清掃作業の立ち合いを行っていた。当該業者による清掃作業が終わり、業者が帰り被災者一人となった。その後被災者が家に帰らないと家族から会社に連絡があり、事業場担当者が事業場を訪れたところ、被災者が建物内部の玄関付近で倒れているところを発見したもの。	100101	413	1	50 ～ 99
9	14 ～ 16	親会社が運営するラブホテルにおいて、客室の水道故障を修繕するため、被災者は同僚1名とともに現在使用されていない同ホテル別棟の給水設備から修理に使える部品を調達するために照明のない建物内を懐中電灯を手に物色していたが、2階から1階に向かう内部階段で転落し、左側頭部を強打して意識を喪失しているところを発見され、病院に搬送されたが、後日死亡したもの。	150101	413	1	30 ～ 49
9	2 ～ 4	百貨店店内1階警備待機室内の中2階で仮眠を終えた同僚労働者が、中2階から1階に向かう階段下の1階床面で頭部から血を流して倒れている被災者を見つけたもの。	150101	413	1	50 ～ 99

8	14 ～ 16	営業のため同僚と2名で得意先を訪問し、2階事務所に通じる屋外階段を上っていたところ、階段を転落して頭部を強く打ち意識不明となり、救急車で搬送された。入院治療を継続していたが、後日脳挫傷により死亡した。災害発生時に同僚は少し遅れて階段に向かっていたため、直接災害発生状況は現認していない。	80209	413	1	10 ～ 29
7	10 ～ 12	職員用階段で、8階から下階に向かってモップを使用した壁面の埃取りとウエスを使用した手すりの拭き掃除を行っていた被災者が、2階踊り場で右側頭部を打って亡くなっていたもの。階段踏み面28cm、蹴上19cm、幅120cm、勾配35度。死因は脳挫傷とのこと。	150101	413	1	300 ～ 499
6	14 ～ 16	工場内の階段の踊り場に仰向けに倒れていたところを、物音を聞きつけた同僚が発見したもの。災害発生直後、被災者に意識はあったが、数日後救急搬送先の病院で死亡した。	11301	413	1	1～ 9
4	12 ～ 14	清掃用のモップとバケツを持って階段を登っていた途中で転落し、踊り場の壁又は床に頭部を打ち付けたもの。	30203	413	1	10 ～ 29
2	10 ～ 12	資材を積んだトラックで改修工事現場に到着した被災者の携帯電話から3次下請の職長の携帯電話に着信履歴があり、職長より折り返し架電したがつながらず、その後、現場への経路として利用していた階段の1階部分の踊り場で頭部から血を流し倒れている被災者が病院の外来患者により発見され、その後死亡した。	30209	413	1	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_38.html